札幌市内の犯罪情勢について

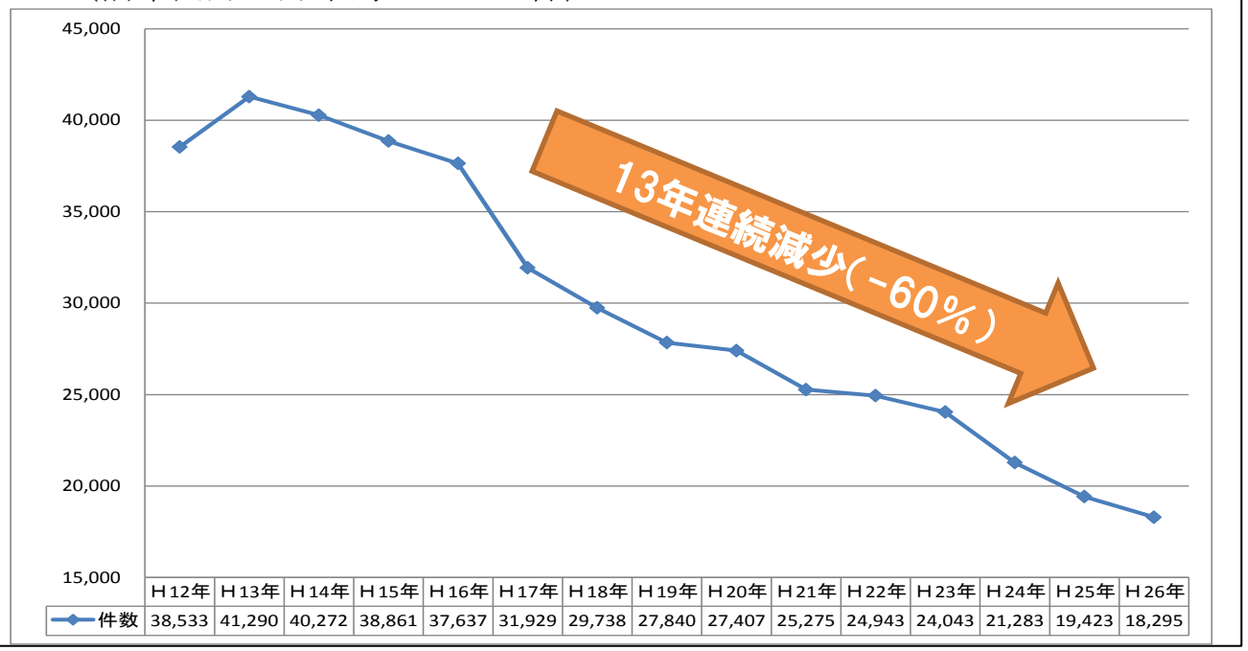
資料2

1　刑法犯認知件数の推移

平成13年に認知件数のピークを迎え、その後は減少し、平成26年には、ピーク時の６割まで減少した。

本年も刑法犯認知件数は減少傾向を維持している。

（前年同月５月末対比　-625件）



2　罪種別刑法犯認知件数の推移

全体の約７割を「窃盗犯」が占めている。年々、窃盗犯の認知件数は減少傾向にあるが、「粗暴犯」「風俗犯」は増加傾向である。

○粗暴犯：暴行、傷害　○知能犯：詐欺、横領　○風俗犯：賭博、わいせつ
○凶悪犯：殺人、強盗　○その他：器物損壊、住居侵入など

年		H21	H22	H23	H24	H25	H26
合計		25,757	24,943	24,043	21,283	19,423	18,295
窃盗犯	件数	19,303	18,808	17,604	14,929	12,932	12,427
	割合	76.4%	75.4%	73.2%	70.1%	66.6%	67.9%
粗暴犯	件数	877	802	815	928	1,005	1,014
	割合	3.5%	3.2%	3.4%	4.4%	5.2%	5.5%
知能犯	件数	607	555	532	419	577	506
	割合	2.4%	2.2%	2.2%	2.0%	3.0%	2.8%
風俗犯	件数	306	324	354	369	529	503
	割合	1.2%	1.3%	1.5%	1.7%	2.7%	2.7%
凶悪犯	件数	129	135	102	114	109	88
	割合	0.5%	0.5%	0.4%	0.5%	0.6%	0.5%
その他	件数	4,053	4,319	4,636	4,524	4,271	3,757
	割合	16.0%	17.3%	19.3%	21.3%	22.0%	20.5%

3　窃盗犯手口別認知件数の推移

窃盗犯全体の手口は減少傾向である。自転車盗、侵入盗が窃盗犯全体の約50％を占め、その他に含まれる「万引き」も毎年約2,000件を認知している。

年		H21	H22	H23	H24	H25	H26
窃盗犯	自転車盗	6,603	6,913	6,033	4,739	4,471	4,256
	侵入盗	1,919	1,799	1,643	1,306	1,394	1,225
	車上ねらい	2,882	2,788	3,115	2,144	1,023	1,113
	ひったくり	110	83	81	59	52	33
	その他	7,789	7,228	6,732	6,681	4,271	5,800

4　振り込め詐欺の発生状況

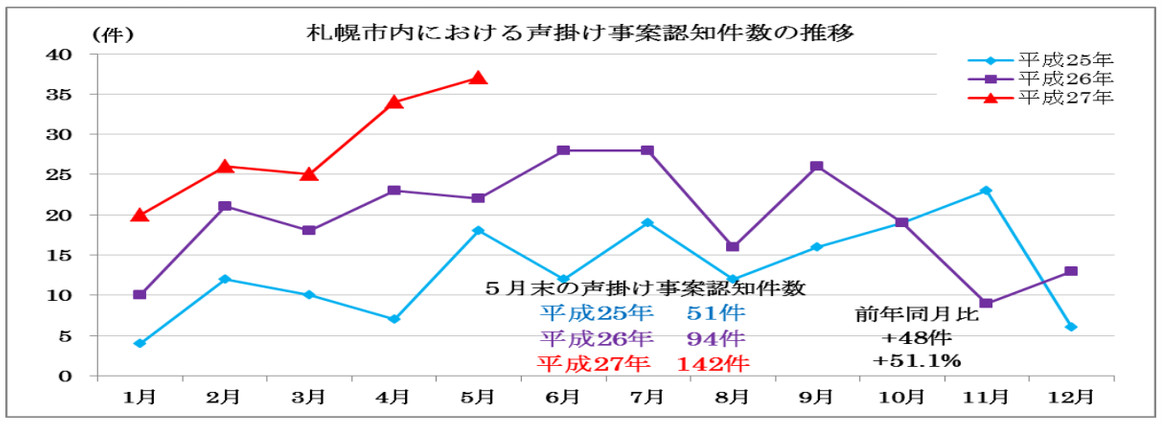
振り込め詐欺の発生は、市内では50件程度で推移していたが、平成26年には70件を認知し、被害額も約2億6,600万円と激増した。

本年は５月末で約2億1,000万円を認知している。

年	H21	H22	H23	H24	H25	H26
オレオレ詐欺	23	37	38	22	15	18
	37,668,799	42,374,321	77,735,280	42,699,000	26,000,000	84,400,000
架空請求詐欺	16	8	5	16	8	38
	18,262,200	4,741,000	4,071,000	11,641,100	24,951,000	160,076,880
融資保証金詐欺	18	4	5	6	8	8
	8,818,028	7,393,071	10,335,476	4,730,088	15,468,012	15,941,614
還付金詐欺	0	1	0	10	27	6
	0	998,770	0	9,066,275	20,973,284	5,940,084
合　　計	57	50	48	54	58	70
	64,749,027	55,507,162	92,141,756	68,136,463	87,392,296	266,358,578

5　子供（13歳未満）に対する声掛け事案

子供に対する声掛け事案（声かけ、つきまとい、容姿撮影、身体接触）は、増加傾向であり、本年もその傾向は変わらない。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明	合計
平成25年	4	12	10	7	18	12	19	12	16	19	23	6	0	158
平成26年	10	21	18	23	22	28	28	16	26	19	9	13	1	234
平成27年	20	26	25	34	37									142